



ロータリーに輝きを

R.I 会長 ゲイリー C.K. ホアン
第 2590 地区ガバナー 大野 清一
Weekly No.2007 号



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARY CLUB / FOUNDED 1972.7.15

会長テーマ：快適なクラブライフと単純明快なクラブ運営の実施

会 長 細山 勝三郎
副 会 長 小丸 日出夫
幹 事 伊 藤 稔
S A A 内 藤 幸彦
会報委員長 長谷山 尚城

2014~2015
第 2027 回例会
平成 26 年 7 月 22 日

例会日 毎週火曜日 12 時 30 分
例会場 川崎市中原区小杉町 3-10 ホテル 精養軒
Tel (044) 711-8855
事務所 川崎市中原区小杉町 3-428 山協ビル402号
Tel (044) 722-4331 Fax (044) 722-6334
E-mail: k-naka@galaxy.ocn.ne.jp
HP http://www.kawanaka-rc.com

例会報告

開 会 点 鐘 細山 勝三郎 会長
司 会 内藤 幸彦 SAA 委員長
合 唱 「四つのテスト」
お 客 様 紹 介 中山 武夫 親睦活動委員

ゲストスピーカー 桑原 薫 様	横浜港北ロータリークラブ パスト会長
ゲスト 須山 文夫 様	川崎大師ロータリークラブ
ゲスト 田邊 邦夫 様	川崎鷺沼ロータリークラブ

今後のプログラム予定

7 月・8 月	プログラム名
第 5 例会 7 月 29 日	卓話「現代の航空機の安全性について」 大韓航空機長 林田 幹夫 様 理事会
第 1 例会 8 月 5 日	卓話 JR 武蔵小杉駅長 柳澤 美香 様 ガバナー補佐訪問とクラブ協議会

出席報告 渡邊新治出席委員長

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回修正出席率
46 名	40 名	6 名	95.24%	欠 8 名 MU 4 名 95.0%

対象外 4 名 対象外 6 名
叶野 聡 会員 三木 治一 会員 島 利夫 会員
小林 敏伸 会員 市川 宏 会員 志村 修司 会員 本日の欠席者

ニコニココーナー

桑原 薫 様：本日、お世話になります。
横浜港北 RC
パスト会長
田邊 邦夫 様：本日はメイクアップに参りました。
川崎鷺沼 RC
宜しくお願ひいたします。
細山勝三郎 君：2014-15 年度ロータリー情報、広報、IT 地区委
員長桑原薫様、お忙しい折、当クラブの卓話に来

て下さりありがとうございます。「サービスの理
念について」勉強させていただきます。

小丸日出夫 君：本日のゲストスピーカー桑原様の卓話宜しくお
願ひ致します。お話の内容が興味深く大変楽しみです。

伊藤 稔 君：横浜港北 RC パスト会長 桑原薫様、本日はお忙し
いところ卓話ご苦労様です。宜敷くお願ひ致します。

伊藤 文治 君：本日は、地区ロータリー情報委員長の桑原薫様を
お迎えして第 1 回目としての研修卓話を頂きま
す。桑原様には、ご多忙の中にもかかわらずご来
会頂きスピーチありがとうございます。

川口 禮敬 君：桑原薫様、卓話ありがとうございます。
楽しみに拝聴させていただきます。

市川 実 君：桑原様、本日は卓話ありがとうございます。

井上 裕司 君：桑原さん、本日はご苦労様です。地区委員会休
みがちで申し訳ありません。今後ともよろしくお願
ひ致します。

中山 武夫 君：本日のゲストスピーカーの桑原様、よろしくお願
ひ致します。

小山 政吉 君：広報 IT 地区委員長 桑原様、卓話 楽しみにして居
ります。本日もよろしくお願ひいたします。

高木 洋一 君：桑原会員、今日はロータリーの原典をきかせて頂
きます。

長戸 隆彦 君：桑原様、卓話を楽しみにしております。

柁木 國義 君：暑くなりました。
熱中症に気をつけて下さい。

渡辺 新治 君：前は井上裕司会員、ありがとうございました。
本日もお願ひいたします。

小島 満 君：桑原様、本日は宜しくお願ひ致します。

金子 利昭 君：所用のため早退させていただきます。

田邊 進 君：本日の卓話楽しみです。

小泉 繁勝 君：桑原薫様、本日は卓話にお越しいただきましてあ
りありがとうございます。「サービスの理想について」
拝聴させていただきます。

内藤 幸彦 君：桑原様卓話ご苦労様です。楽しみにしています。

合計	20 件	¥30,000
累計	98 件	¥140,000

会長報告 細山勝三郎会長

- 1 ハイライトよねやま 172 号が届いております。回覧いたします。
- 2 8月の予定を確認いたします。
8月5日 ガバナー補佐とのクラブ協議会
8月19日 ガバナー公式訪問
- 3 7月17日ソシア21にて地区研修委員会が開かれ伊藤文治研修委員長と出席してまいりました。
研修と情報の違い、研修は極めて重要であり価値あるもの、人に説明できるトレーニングであり、リーダーシップの育成のみならずメンバーシップの育成が必要だという有意義な内容でした。詳細につきましても、後日理事会にて検討したいと考えております。
- 4 インターアクトの件
橘高校に関して、小泉繁勝会員、伊藤稔幹事にて訪問した。

幹事報告 伊藤稔幹事

- 1 例会変更のお知らせ
川崎高津南 ●8月4日(月)通常夜間例会 点鐘 18:30
神奈川マスターズ水泳大会
●8月11日(月)→10日(日)移動例会「橘ふるさと祭り」
場所：川崎市民プラザ屋内広場
内容：東日本大震災復興支援
●8月18日(月)定款細則による休会
●8月23日(土)移動例会「市政記念多摩川花火大会」
内容：多摩川花火大会自主警備
●8月25日(月)振替休会
横浜西 ●8月13日(水)休会
- 2 2014-15 年度活動計画書受理
川崎幸 RC 川崎 RC 事務局にて保管しております。
- 3 神奈川ロータリークラブより卓話のご案内が届いております。
日時：8月11日(月)点鐘 12:30～
場所：ホテルキャメロットジャパン5階ジュビリー I ビジターフィー 3500円
ロータリーの友編集長 二神典子様
- 4 来週は例会後に理事会がありますのでよろしくお願いします。

卓話「The Ideal of Service サービスの理想について」 桑原 薫様 (横浜港北 RC) パスト会長



奉仕の理念 (idea) とサービスの理想 (ideal)

「奉仕の理想とは他人を思いやり他人のために尽くすこと」と云われていますが、これはチェスリー・ペリーの個人的な見解であり、しかも helpfulness は「尽くすこと」ではなく「役に立ちたいという思い」です。「尽くすこと」は奉仕であり「役に立つこと」がサービスです。

米山梅吉先生も The ideal of service を「奉仕の理想」では

なく「サービス理想」と訳しています。ちなみに ideal (理想像) は模範や鑑のことで、理想像の哲学用語が「理想」なのです。サービスには有償の場合と無償の場合がありますが、奉仕は一般に無償です。いずれも、報われるかどうかかわからない段階にあり、報われる場合と報われない場合があります。それに対して「奉仕の理想」は「すべてのサービスが、公平（それ相応）に報われることが理想である」という考え方です。その根拠を以下に記します。

「ロータリーの目的」において「事業の基礎としてのサービスの理想」と記されている以上、この「サービスの理想」が事業上の利益を生むサービスであり、事業で得た利益を奉仕活動に使うことでないのは明らかです。また決議 23-34 の主旨が、公平性を順守する為の「利己的欲求と利他的欲求の調和」であることから、これが奉仕（自分の欲求よりも他者の欲求を優先すること）とは別の理念であることは明白です。

ここで注目すべきは、欲求（ニーズ）を満たすことが「サービス」であることです。つまりこの決議は「ロータリーとは」と言いながら「サービスのあり方」を定義しているのです。また「ロータリーの哲学が第一標語かつ第二標語の哲学である」ことから、二つの標語は「奉仕の理想」を別の視点から説いたものということになります。

横浜港北 桑原 薫

職業奉仕と二つの標語

職業奉仕とは「職業を通じて社会に貢献すること」と云われていますが、これはドナルド・カーターが「自分の生きる証」について述べたものです。

社会には community (エリアを分かち合う仲間) と society (利害を分かち合う仲間) があり、どちらも本来仲間という意味でしたが、1900 年頃には仲間の集まりという意味になり、やがて現在のような意味になったのです。

職業奉仕とは society にサービスすることですが、ロータリーができた当時、事業主にとって society は顧客や従業員などの職業関係者のことでした。

四つのテストの all concerned (みんな) も正しくは「関係者全員」です。

つまり「職業関係者全員に公平（それ相応）にサービスすればする程、利益が増える」というのが職業奉仕理念です。それを表すのが 1910 年の「自分の仲間に最もよくサービスする者、最も多く報いられる」という標語です。

1911 年、この標語から「自分の仲間に」という条件を外して、もう一つの標語と理念を揃えることにしました。もう一つの標語は Service not self であり「会員同士の相互扶助を会員外へ拡大しよう」という意味でした。つまり、二つの標語の理念を「エゴイズムではなくサービス」に統一したのです。

しかしながら、エゴイズムを否定することは、生物の存在自体を否定することになるので、1917 年頃、not を above に換えて、エゴイズムの全面否定をやめます。つまり Service above self (超私の奉仕) は「我より奉仕」ではなく「エゴイズムよりもサービス」であり、self は selfishness のことです。

つまり、ロータリーには 1907 年からの奉仕 (altruism) という理念 (idea) と 1911 年からの「エゴイズムよりもサービス」という理念があり、後者こそがサービスのアイデアル (ideal) すなわち「奉仕の理想」と云われているものです。1927 年この「奉仕の理想」の対象を四つに限定したものが四大奉仕です。

横浜港北 桑原 薫